

# 第17回 CSW インターン募集

## 2020年国連女性の地位委員会(CSW64)へ 派遣する女性インターン募集



認定NPO法人日本BPW連合会

日本BPW連合会(BPW)では、国際問題に関心を持つ20歳以上の大学生(女性)または、30歳以下の女性を対象に、毎年ニューヨークの国連本部で開催される、女性の地位委員会(CSW)に派遣するインターンを募集しています。今回の派遣は2003年の事業開始から17回目となります。

### 2020年派遣インターン募集要項

**募集目的** 国際問題・国連問題・女性問題に関心を持つ、あるいは将来その方面で活躍したいと願う若い女性を支援する目的で行われるもので、国連本部内及びその周辺で行われる様々な関連行事への参加を通して、若い世代の国際的な感覚・知識の育成を目指しています。2020年第64回女性の地位委員会の優先テーマは1995年の北京国際女性会議から25年の節目を迎えて「Beijing+25: The review and appraisal of the implementation of the Beijing Declaration and Platform for Action (仮)」です。

**期間** 第64回国連女性の地位委員会は、2020年3月9日(月)から20日(金)の日程で開催されます。登録・事前のイベント、BPWインターンの顔合わせなどの都合で、開始前の前々日(7日)に到着するのが好ましく※、滞在は10日以上を期待します。※直前にユースを対象としたプログラムが設定され募集が公表される場合があります。

- 6つの特典**
- CSWの会議と平行して行われる様々なイベントやワークショップに参加し、発言し、意見を述べるすることができます。
  - 国際BPW主催の各種活動(ワークショップ、交流会、夕食会など)に参加して、各国の国際BPWメンバーと交流ができます(国際BPWとの交流の有料部分は日本BPWが一部負担)。
  - 国連やCSWに関する説明や解説を事前あるいは現地で受けることができます。
  - 日本政府代表部がおこなう公式説明会に参加できます。
  - 世界各国の女性団体の方と交流できます。
  - 国際関係・女性問題関係を専攻する女子学生には、論文作成などのための最前線の資料が入手できます。

**募集対象** 国際問題、女性問題、国連に関心を持つ20歳以上の、大学生または30歳以下の女性、若干名。NYでは、現地プリーフィングへの参加など、インターン活動を優先していただける方。帰国後は、報告書を作成し日本BPW連合会に提出いただく他、BPWが企画するイベント(報告会・NWECインターン報告・各地のBPW活動)などに参加いただける方。またヤングBPWのメンバーとしてBPWの活動に参加できる方。

**費用** 航空運賃・宿泊費・生活費は自己負担。海外旅行保険も自己負担になりますが必ずご加入ください。また、NGOプリーフィングや食事会、有料イベントへの登録料は各自負担になります。但し、BPWが行うイベント(夕食会他)への参加費の一部はBPWが負担します。

**応募方法** E-mailにて、応募必要事項記載の上、小論文(応募動機および国際問題・女性問題・国連に関するあなたの意見を日本語および英語で述べて下さい。「日本語で1000字前後、英語で500words以内」を添付の上送信)。

**応募・問合せ** [csw2020@bpw-japan.jp](mailto:csw2020@bpw-japan.jp)(日本BPW連合会インターン担当) 件名「UN-CSW インターン」と記載してください。

**応募〆切** 2019年10月08日(火)

**結果発表** 2019年11月08日(金)

日本BPWのホームページも参照ください <http://www.bpw-japan.jp/japanese/csw.html>



**BPWとは?** Business and Professional Women の略です。日本BPW連合会は、政策決定に関わる女性を増やし、働く女性たちの職場や賃金での格差をなくし、そして何よりも国連が提案しているSDGsの実現に向けて活動する認定NPO法人です。

日本BPW連合会が加盟するBPW International(国際BPW)は、国連の経済社会理事会から『総合協議資格』を付与されており、女性問題に限らず、紛争や貧困、教育などの社会・経済問題について取り組み、世界各地の100を越す国と地域で活動しています。

日本BPW連合会は、1958年に創立され、現在は全国各地に16の単位クラブ・アソシエーツがあり独自に活動しています。連合会は、特に若い世代の育成に力を入れ、インターンの国連CSW派遣や、毎年『ヤング・スピーチコンテスト』全国大会などを実施し、そのほかに、内閣府との共催事業や、「日本のジェンダーギャップ指数を考える」といった独自のイベントも展開しています。

問い合わせ & 応募先	E-mail	csw2020@bpw-japan.jp(日本 BPW 連合会インターン担当) 件名「UN-CSW インターン応募」と記載してください * お問い合わせ及び応募は上記 e-mail にて受付しております。
応募方法	応募メール への必須情報	氏名 / (ふりがな) 住所 〒 / 連絡先 電話 / メールアドレス 生年月日 19 年 月 日生 所 属/大学(学部・専攻)又は職業 履歴 高校卒業以後の履歴(学歴・職歴等) 滞在可能期間(予定) 備考 応募にあたって、疑問点などあれば、お書き下さい。 応募メール本文または、添付ファイルに記載願います
	添付書類	小論文「応募動機及び国際問題、または女性問題、あるいは国連に関する意見」 日本語で 1000 字前後、英語で 500words 以内 ※日本語・英語の両方の論文を (word あるいは text ファイルでメールに添付) して 提出して下さい。
参考	選考にあたり、電話インタビューまたは面談などを行う場合があります 募集要領・メールフォームは、下記にも掲載します <a href="http://www.bpw-japan.jp/japanese/csw.html">http://www.bpw-japan.jp/japanese/csw.html</a>  BPW の詳細についてお知りになりたい方は、こちらのホームページをご覧ください <a href="http://www.bpw-japan.jp">http://www.bpw-japan.jp</a> (日本 BPW 連合会) <a href="http://www.bpw-international.org">www.bpw-international.org</a> (BPW International)	

#### CSW-インターン参加者の声 (2019 年 16 期生報告書からの一部抜粋)

- Youth Dialogue (若者向けのイベント) 2 つに加え、様々な主催者による様々なテーマのイベントに参加した。繰り返し話題に  
あがり印象に残ったメッセージが3つある。「Rights were not given」女性は黙っていて権利を与えられたのではなく、立ち上がり  
戦ってきた女性たちのお陰で今があること。「Find a cause」特に若者へのメッセージとして、世界を変える第一歩を踏み出す  
ために、ひとつの分野や問題意識を定め、集中して取り組むのがよいということ。「The importance of solidarity」ひとりきりで社  
会と戦うのは難しいので、多くの人を巻き込むべきであること。CSW 参加者が取り組む課題は多岐に渡り、その全てを把握す  
ること、専門性の高い議論を全ての場で行うことは到底不可能である。何よりも、一人ひとりの姿勢や情熱から大きな学びを得  
た2週間であった。
- 今回の CSW63 インターンで得た経験は私の一生の宝物になりました。世界中の活動家達が女性・女兒のエンパワメントに取り  
組んでいる姿に大変刺激を受けたのはもちろんのこと、国際規模の討論が進んでゆく過程を拝見することができたのは大変  
貴重な経験となりました。ジェンダーに関する各国の現状や抱える問題は  
同じではないにしろ、世界中から集まった活動家たちが情報を共有し  
合い、提案し合い、励まし合いながら“Gender Equality ”の達成を目  
指している姿からは、「自分たちの力で社会を変えることができる  
のだ」という強い信念と情熱を感じました。そして、個人がいか  
にジェンダー平等を身近な問題として捉えて勇気を持って行動に移す  
ことが求められているかということを実感しました。このインターンで  
得た経験をさらに価値あるものにしていくために何ができるかを考え  
ていきたいと思ひます。貴重な機会を与えてくださった皆様に感謝  
申し上げます。
- 今思えばあつという間でしたが、非常に濃い時間を過ごすことのできた 2 週間でした。この間数々のイベントがありましたが、一  
番印象に残ったのは 21 日にあった中絶と乳がんの関連性についてのサイドイベントでの出来事です。そこには未成年の時に  
望まない妊娠・中絶の被害を受けた方が数名おり、その方々が自身の体験談を語る時間がありました。その中で、中絶によ  
って二度と子を産めない体になった方が「自分の子があなたの名前を呼ぶのを聞いたことある？ 子どもが走り回る音を聞いたこ  
とある？」と問いかけるように話をしました。私はその言葉にとて胸が苦しくなり、リプロダクティブ・ヘルス/ライツがいか  
に重要な権利かを目の当たりにしました。CSW に参加して、賃金格差やアンペイド・ワーク、ステレオタイプについてなど大学で習  
ったもの以外でも、様々な場面でジェンダー問題は其の猛威を振るっていることを思い知らされました。また、期間中そうしたイ  
ンプットの機会のみならず、一緒に参加した他のインターン生 2 人や、日本 BPW 連合会の方々と話し合うアウトプットの機会も  
あり、改めて自身のジェンダー観を見つめなおすことができました。今後ともこうしたジェンダー問題に関心を持ち続け、また今  
度は自分なりにジェンダー平等のための活動を行っていきたくひです。



CSW 参加者報告書は日本 BPW の HP をご覧ください。印刷製本した報告書は 1 部 1,000 円にて頒布中